

# 東海市未婚者支援対策 提案書

平成23年3月

東海市未婚者支援対策協議会



# 目 次

---

はじめに .....	2
1 趣旨 .....	2
2 検討経緯 .....	3
<b>I 具体的な取り組み .....</b>	<b>4</b>
1 結婚応援センター .....	4
(1) 未婚者支援の基本的な考え方 .....	4
(2) 結婚応援センターの概要 .....	6
(3) 事業概要 .....	6
2 経済的支援策 .....	7
(1) 背景 .....	7
(2) 具体的な内容 .....	9
3 今後に取り組む事業 .....	11
<b>II 未婚者支援事業の数値目標 .....</b>	<b>13</b>
1 短期的な数値目標（平成23年度） .....	13
2 長期的な数値目標（平成23年度～平成26年度） .....	14
<b>III 将来展望 .....</b>	<b>15</b>
<b>IV むすびに .....</b>	<b>16</b>
<b>VI 資料編 .....</b>	<b>17</b>

# はじめに

---

## 1 趣旨

平成21年度（2009年）から東海市では、少子化対策の川上の支援策として未婚者支援に取り組んできました。

平成21年度には、市内の商工団体や企業、専門家、行政で構成する東海市未婚者支援対策協議会が設置され、市民3,000人を対象に結婚に関する意識など尋ねる「20～30歳代の市民・意識に関するアンケート調査」を行い、その結果を分析し、未婚者支援対策調査報告書を協議会で取りまとめました。

平成22年3月には、調査報告書の中で結婚に関するイメージアップPR方策の1つとして報告した都市宣言「子育てと結婚を応援するまち東海市」が市により行われました。

平成22年度（2010年）には、調査報告書の基本的な考え方を踏まえ、4つの出会いの場の創出事業と5回シリーズの結婚力向上セミナー、市民フォーラム、結婚を応援するホームページの開設準備等が市により実施されました。

また、平成22年度も継続して未婚者支援対策協議会が設置され、平成23年度以降の事業として、東海市結婚応援センターの概要や経済的支援策などについて検討しました。本提案書は、先の未婚者支援対策調査報告書の内容をより具体的に検討した平成22年度の未婚者支援対策協議会の内容を取りまとめたものです。

未婚者支援は、雇用対策や住環境の整備、地域コミュニティの活性化、育児環境の整備など様々な分野における総合的な取り組みが求められ、決して、短期的に成果を得られるものではありませんが、東海市では、少子化の要因の一つである非婚化・晩婚化を改善するため、未婚者を支えられる良い仕組みを目指して、小さくも継続的な未婚者支援が推進されることを期待します。

## 2 検討経緯

学識経験者、市内の関係者、地域の結婚紹介事業者などが集まり、未婚者支援対策協議会が設置され、未婚者支援対策調査報告書（平成22年2月）の内容をもとに、これからの東海市の未婚者支援対策を検討しました。

東海市未婚者支援対策協議会（平成22年度）	
目的	東海市未婚者支援対策調査報告書に基づき、中長期的な視野で未婚率の減少を図るため、結婚支援の総合的・計画的な施策を開発・事業立案すること
検討	平成22年7月～平成23年2月にかけて、3回開催
構成員	学識経験者、商工業団体・農業団体代表者、地域の代表者、結婚紹介事業者、市の職員 計15名

### ※【参考】東海市未婚者支援対策調査報告書（平成22年2月）の検討経緯

未婚者支援対策協議会を設置し、20～30歳代の市民の生活・意識に関するアンケート調査、統計データの整理、「出会いづくり」「結婚力向上社会」の2つの分科会に分かれての議論などを通じて、未婚者支援対策調査報告書を平成21年度に作成しました。

東海市未婚者支援対策協議会（平成21年度）	
目的	少子化問題の大きな課題の一つである未婚化・晩婚化の実態や要因についての調査研究を行い、その結果を踏まえ、中長期的な視野で未婚率の減少を図るため、結婚支援の総合的・計画的な施策を開発する。
検討	平成21年8月～平成22年1月にかけて、全体会4回、分科会3回を開催 分科会は、「出会いづくり」「結婚力向上社会」の2つを設置
構成員	学識経験者、商工業団体・農業団体代表者、地域の代表者、結婚紹介事業者、市の職員 計15名

### ○「20～30歳代の市民の生活・意識に関するアンケート調査（平成21年）」（東海市）

目的	20～30歳代の結婚や子育てについての考え方や生活の状況などを把握し、結婚支援施策等の基礎資料とする。
対象	東海市内在住の20～30歳代の市民3,000名
調査手法	郵送配布・郵送回収
調査期間	平成21年8～9月
回収	940票（31.3%） ・世帯の同居者などを勘案し、できるだけ未婚者に届くように抽出方法を工夫した結果、回答者の92.6%が未婚者となった。
設問	回答者の属性、生活、結婚、子育てについて

# I 具体的な取り組み

## 1 結婚応援センター

東海市未婚者支援対策調査報告書（平成22年2月）の基本的な考え方に基づき、東海市内外の多様な民間事業者等の協力を得ながら、男女の出会いの場を創出し、結婚に向けた意識の醸成を図る必要があります。

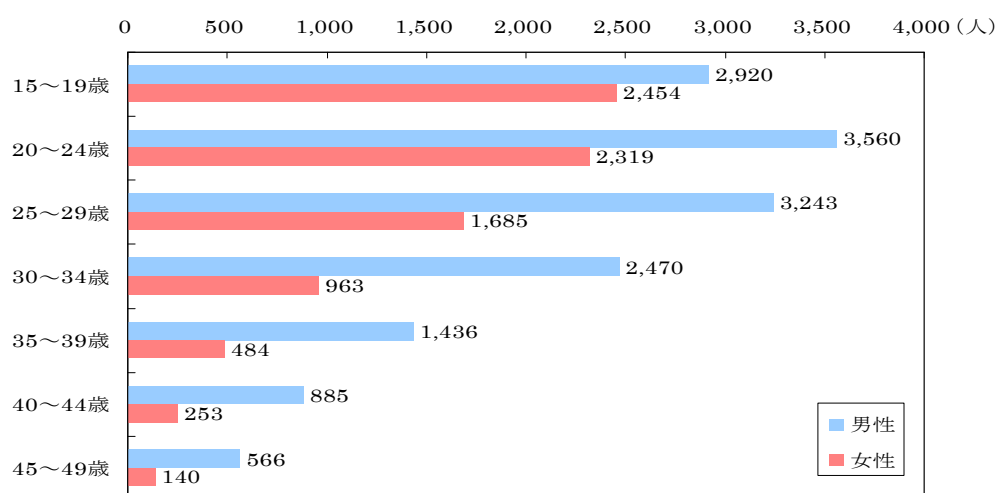
東海市結婚応援センター（以下、「センター」という）が平成23年4月に名鉄太田川駅東の商業ビルの子育て総合支援センター内での開設が進められており、東海市の未婚者支援の拠点施設として期待できます。

### (1) 未婚者支援の基本的な考え方

「結婚したいなあ」と思え、結婚が実現する社会を目指します

「結婚する」「結婚しない」ということは、個人の判断に任せられるものであり、本来は行政が関与するべきことではないと考えられます。

しかし、東海市での近年における未婚率の急上昇の要因・背景は、個人の問題にとどまらず、社会環境の急激な変化や市内の未婚男女数のアンバランスの発生による部分が大きいものと分析できます。このことから、行政が未婚者支援に取り組む意義があると考えられます。闇雲に結婚を煽(あお)るのではなく、結婚したいと思う人が結婚をすることができ、そして、結婚して安心して子育てしたいと思うような社会環境を整備する、数珠つなぎの未婚者支援・少子化対策が行政に求められます。



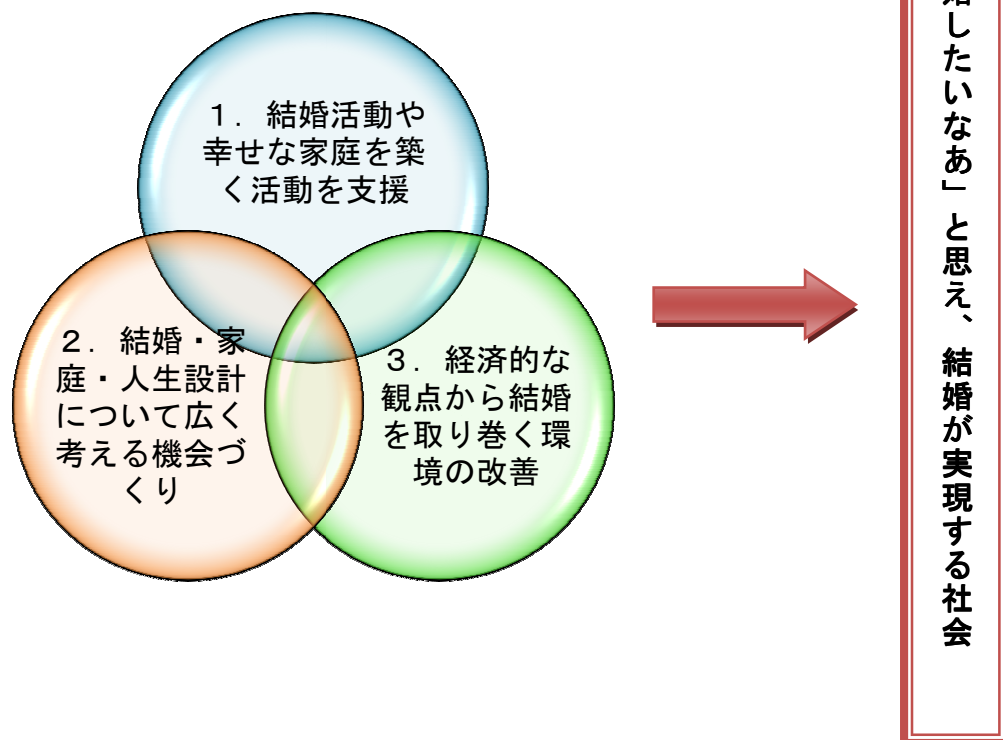
20～30 歳代未婚者の人口（東海市）

出典：「国勢調査（平成17年）」（総務省統計局）

○行政、企業等、まわりの人、民間事業者に期待される役割

東海市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○未婚者や市民等への適切な情報提供、出会いの機会の創出支援など、基礎的な結婚支援社会の基盤をつくる。</li> <li>○地域のコーディネーターとして、未婚者・地域住民・企業等の間を取り持ち、連携を促進する。</li> <li>○トラブルなどに巻き込まれないで安心して婚活ができる環境をつくる。</li> </ul>
企業等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職員の経済的な基盤となる雇用の安定に努める。</li> <li>○職場が大切なパートナーとの出会いの場の1つであることを認識し、男女がともに働ける環境づくりを工夫する。</li> <li>○結婚が、心の安定や生活の充実につながるなど、職員の福利厚生に重要となっていることを認識する。</li> <li>○独身寮は、結婚を先延ばしにしやすいことを念頭に置く。</li> </ul>
まわりの人 (家庭・地域・職場)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○結婚することが大変な社会になっていることを理解する。</li> <li>○結婚したいと考えている人の個性や希望が多様であることを認識し、その人に合った婚活を一緒に考える。</li> <li>○同居は、結婚を先延ばしにしやすいことを念頭に置く。</li> </ul>
民間事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>○婚活パーティーなどを通じて、出会いの場を創出する。</li> <li>○結婚・子連れの家庭について、商品やサービスの優待を行う。</li> </ul>

○取り組みの方向性



## (2) 結婚応援センターの概要

### ① 相談の受付時間

東海市内の勤労者の多くを占める製造業で働く男性の未婚者は3交代で勤務している場合が多く、利用しやすい相談の受付時間を特定しにくい現状にあります。

また、製造業に関わらず広く未婚者の男女から相談を受けるため、土日祝日の相談受付を実施する必要があります。

このことから、平成23年度の相談の受付時間は、月曜日を除く週6日の午前9時から午後5時とし、試験的に実施することが望ましいと考えます。なお、相談の受付時間の変更や夜間の相談受付等については、平成24年度以降に利用者の状況や要望を考慮し、改めて検討する必要があります。

### ② 事業主体

未婚者支援事業で大切な安心感を作るため、東海市が直接、事業運営する必要があります。

## (3) 事業概要

### ① 結婚活動に関する相談

結婚活動に関する相談は未婚者本人だけではなく、親御さんからの相談も想定されます。ことから、未婚者本人だけではなく、親御さんからの相談にも応じる必要があります。

また、相談は東海市の未婚者の男女比のミスマッチを考慮して、東海市在住・在勤者に限定することなく、将来的に東海市への定住につながる可能性がある近隣市町の未婚者やその親御さんからの相談も広く受けることが望ましいと考えます。

なお、パートナーのマッチングについては、専門的な経験と知識が必要であり、東海市単体での取り組みには限界があることから、実施の可否について、慎重に検討する必要があります。

### ② 結婚応援サポーターの募集

行政だけでの取り組みには限界があることから、結婚応援サポーターとして、市内外の多様な民間事業者等の協力を得る必要があります。

そのためには、民間事業者が結婚応援サポーターになるメリットを作ることが必要です。

メリットの例として、飲食店が出会いの場を創出するイベントを計画する場合やボランティア団体が結婚活動に関連付けて事業を計画する場合などに、結婚応援センターの情報発信ツールを活用し、イベント情報等を発信することにより、集客や参加者の増加を図ることがあげられます。



### ③ 結婚活動に関する情報発信

ホームページの運営や予め登録した方を対象としたメールマガジンの配信を中心に結婚活動に関する情報を広く発信する必要があります。

なお、結婚応援サポーターが実施する事業については、個人情報の保護や参加における注意事項などに留意しながら、トラブルを未然に防止するため、情報発信をすることができる基準を明確に定め、登録者に周知する必要があります。

また、将来的には、結婚応援サポーターから登録料を広告宣伝費として受け取り、サイトの運営費用等に充てるビジネスモデルを構築することが望ましいと考えます。その場合は、結婚関連業者とその他民間事業者で登録料の差を設けるなどの方法が考えられます。

### ④ イベント等による出会いの場の創出

結婚について積極的に考える未婚者の男女を対象として、イベントや職場交流会等による出会いの場を創出する必要があります。

センターを事務局とし、結婚応援サポーターの協力を得ながら、男女の出会いの場を創出することが求められます。

その際、個人情報の保護や参加における注意事項など留意しながら、安心して参加できる環境を作る必要があります。

また、当初は結婚応援サポーターによる事業実施の有無が不確定であることから、センターとして事業を年数回実施する必要があります。

### ⑤ 結婚活動に関する各種講座の開催

単発の出会いの場の創出事業だけではなく、未婚者の男女の結婚力の向上を支援するため、結婚活動に必要なコミュニケーション能力向上講座、ファッション講座や話し方講座などの開催が求められます。

また、地域で結婚を応援する環境を醸成するため、親御さんや結婚応援サポーター向けの講座の開催も求められます。

## 2 経済的支援策

### (1) 背景

結婚に関して、仕事と家庭の両立も含めて、経済的な問題が大きく影響すると考えられます。

経済的な側面は、国の税制度や企業の雇用制度と深く結びついており、東海市として実施できることは限定的ですが、経済的な支援に係る取り組みは、不可欠な要素です。

単にイベント等による出会いの場の創出だけではなく、少子化の原因の1つである非婚化・晩婚化の本質を捉えた大局的な見地からの取り組みを意識

的に行う必要があります。

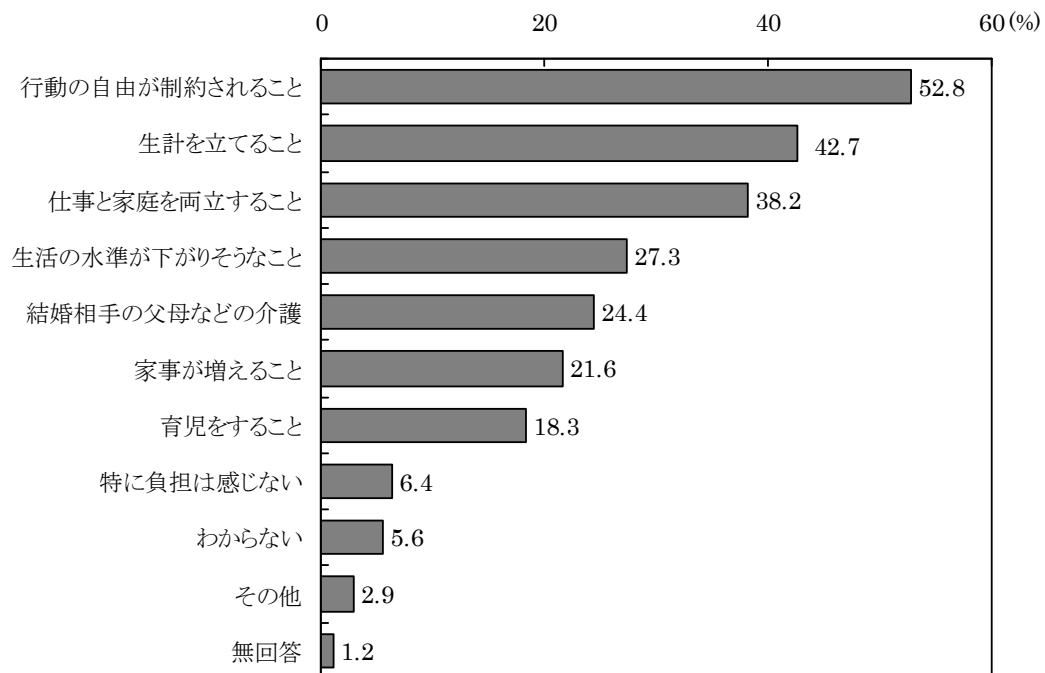
以下、「20～30 歳代の市民の生活・意識に関するアンケート調査報告書」より抜粋

●問9 「結婚」において負担だと思われること

「行動の自由が制約されること」の割合が 52.8%と最も高く、次いで「生計を立てること」の割合が 42.7%、「仕事と家庭を両立すること」の割合が 38.2%となっています。

「性・年齢別」では、各項目において男性と比較して女性は負担に思われており、特に「行動の自由が制約されること」、「仕事と家庭を両立すること」、「家事が増えること」を負担と思われています。また、男性は女性と比較して「生計を立てること」に不安を抱いていることが伺えます。

結婚願望の高低に関わらず、全体で上位に挙げられている項目に大きな違いは見られず、負担と思われています。



●結婚しやすい社会となるために行政に求められること（自由回答）

項目	分類	主な意見のまとめ
行政	①出会いの場を提供するイベントの実施	・行政が率先してパーティー・イベント等の出会いの場を提供。
	②結婚に関する優遇制度等	・結婚に関する助成金・祝金。 ・結婚することによる税金面での優遇措置。 ・結婚すると優遇されるサービス・特典等。 ・結婚に関する手続きの簡素化。
	③子育て支援環境の充実	・保育施設の充実(施設の増設・金額を安くする等)。 ・子育ての悩み相談等ができる場を設置。 ・公園・道路など安心して子育てできる環境整備。
	④資金面での支援	・子どもの医療費負担を軽くする。また、出産できる病院の確保。 ・育児・医療・教育などにかかわる支援金・補助金等の充実。 ・学費の経済的援助(手当・補助金・免除・低額化等) ・市民税などの減税。 ・無駄をなくすことによる減税。
	⑤雇用の安定	・安定した雇用・収入。
	⑥その他	・親の介護を任せられる福祉の充実。

## (2) 具体的な内容

### ① 共働きしやすい環境づくり

共働きは、経済的な負担の軽減を図る方法として、有効であると考えられます。平成21年度に策定した東海市次世代育成支援行動計画（後期）や平成17年度に作成し、毎年、成果指標の管理を行っている男女共同参画基本計画をもとに、保育環境の充実や企業への啓発など、仕事と家庭の両立支援を図り、共働きしやすい環境をつくることが重要です。

なお、これらの取り組みは、東海市の様々な部署で推進されていますが、センターとしても、未婚者支援の重要な施策の1つと位置付け、積極的に連携を図りながら、推進していく必要があります。

具体的には、未婚者、親御さんや結婚応援サポーターに対する講座の中で、ワークライフバランスに関する講座などの実施を結婚応援センターとして実施することが考えられます。

### ② 安定した雇用・就労環境づくり

東海市として実施できることは限定的ですが、既存の東海市地域職業相談室との情報交換や平成22年度に新設された東海市離職者雇用創出奨励

補助金<sup>1</sup>の活用により、安定した雇用・就労環境づくりを図ることが期待されます。

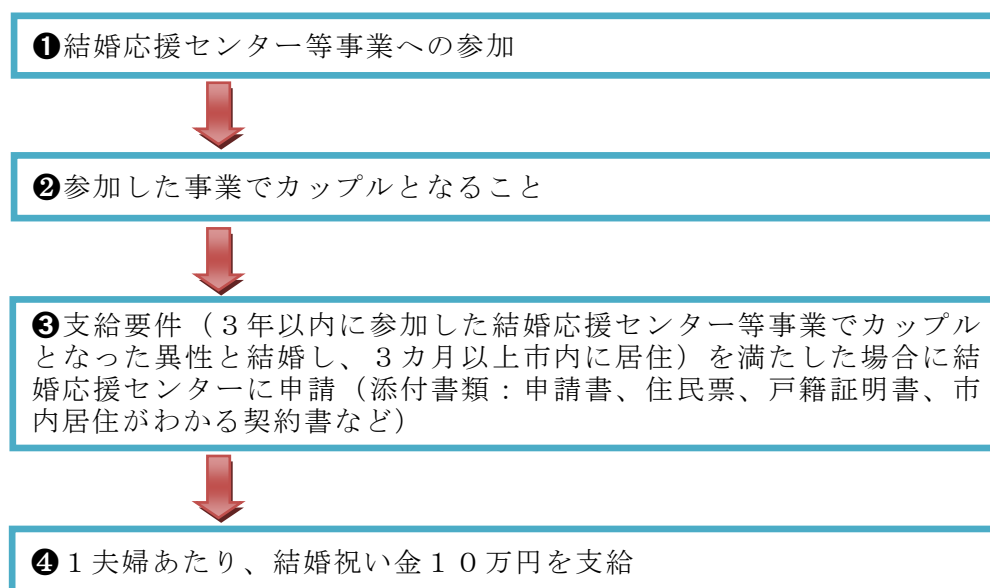
③ 新婚家庭への結婚祝い金支給制度の創出（経済的な負担の軽減策）

結婚応援センターの主催する事業又は結婚応援サポーターが実施する事業であって、センターが情報発信した事業に参加し、カップルとなった男女が参加後3年以内に結婚し、東海市に3か月以上居住した場合、結婚祝い金として1夫婦あたり10万円を支給する制度の新設。

○ 支給要件

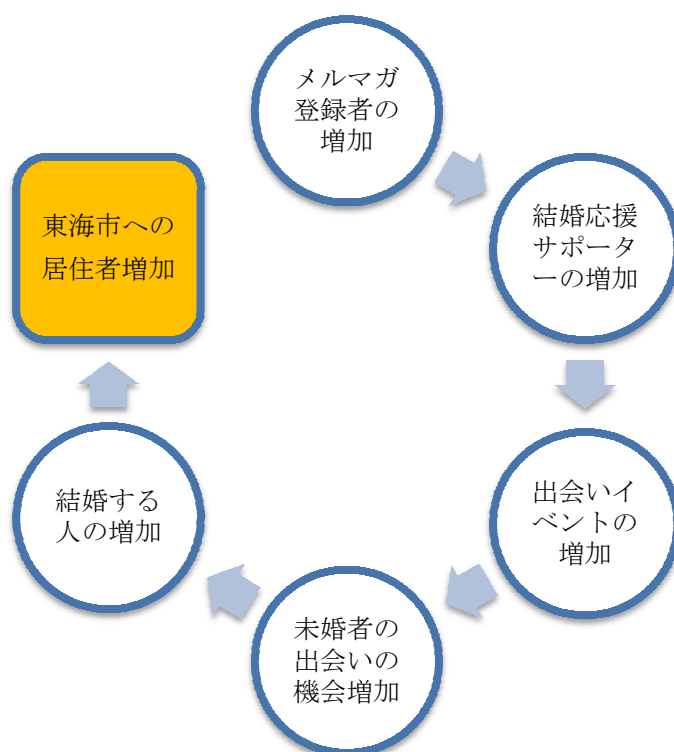
- ◆ センター又は結婚応援サポーターが実施する事業への参加  
※結婚応援サポーター事業の場合は、センターがメールマガジン登録者に情報発信した場合に限る。
- ◆ 参加した事業でカップルとなり、3年以内に結婚すること
- ◆ 結婚後、東海市に3か月以上居住すること  
※申請時に、東海市民であることが必要

○ 支給スキーム



<sup>1</sup>東海市離職者雇用創出補助金とは、離職者を新たに新規雇用する市内の事業主に対し、1人当たり20万円、障がい者の方は30万円を交付する補助金制度。

○ 祝い金支給制度による期待できる副次的な効果（イメージ）



○ その他の視点

未婚者支援による少子化対策を本市の定住促進策と考えるならば、賃借する家屋の家賃補助ではなく、持ち家購入者に対する支援策が望ましいと考えられます。ただし、その場合、“新婚”家庭への補助とは成りにくいと思われれます。

また、家賃補助としない理由は、資金使途が限定されない自由度がより高い経済的支援策である祝い金としての支給が望ましいと考えるためです。

なお、支給対象者をセンター事業等の参加者でカップルとなった夫婦に限定するのは、全ての結婚した方を対象者とした場合、支給対象者が約1,500組（東海市に婚姻届を出した件数のみであり、他市町村での提出者、届出後に東海市外で居住した者は含まれていない）となることが想定され、1組あたり5万円を支給した場合でも、7,500万円の税負担となり、昨今の財政事情を考慮すると実現性に乏しいと考えられるためです。

### 3 今後に取り組む事業

東海市未婚者支援対策調査報告書（平成22年2月）及び本提案書に基づき、結婚応援センターが平成23年度以降に取り組むことが望ましい事業の計画は次のとおりです。なお、事業計画については、平成24年度以降もPDCAサイクルの「計画」にあたる重要な要素として、本提案書Ⅱの未婚者支援事業の数値目標の見直し等と合わせて、毎年度2月までに策定し、ホー

ムページ等で公開することが求められます。

○ 平成23年度以降 未婚者支援対策事業スケジュール(案)														
														実施予定月
項目	平成23年度												平成24年度～	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
結婚 支援 セン ター 事業	①ポータルサイト運営													
	②メール会員募集開始													
	③メルマガ配信													
	④出会いイベント開催(独身者)			①			②			③				
	⑤出会いイベント開催(保護者)							④					⑤	
	⑥結婚応援サポーター													
	ア 結婚応援サポーター募集													
	イ 婚活特典募集開始													
	⑦各種講座													
	ア 結婚力向上講座							⑥	⑦					
	イ 結婚応援サポーター向け講座						⑧					⑨		
	ウ 保護者向け講座					⑩					⑪			
	エ 人生設計講座(フィナンシャルプラン・ワークライフ・バランス等)											⑫		
	オ 婚活出前講座													検討
	⑧その他													
	ア 地域サークル交流促進													検討
	イ 市民募集広報事業							検討						
	ウ イベントブース出展									検討				
	エ 公共施設でのPR										検討			
	オ 婚活月間事業													検討
カ 学校教育との連携													検討	
将来 展望	①まちづくり協働事業													検討
	②世話焼きさん事業													
	ア 登録制度運用									検討				
	イ スキルアップ講座													
	ウ 成婚補助金									検討				
③近隣市町等との連携													検討	

## Ⅱ 未婚者支援事業の数値目標

未婚者支援事業は、事業効果が現れるのが数年後になることから、事業成果の測定が難しいと考えられます。地域の未来への投資事業ではありますが、税金で事業実施する以上、常に説明責任を果たせるように目的意識を持ち、目標を長期と短期に分けて設定することが必要です。

事業実施においては、一般的な業務管理方法であるP D C Aサイクル【Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Act（改善）】により、実施することが求められます。

### 1 短期的な数値目標（平成23年度）

結婚応援センター設置後の平成23年度の数値目標は次の表のとおり設定することが望ましいと考えます。

なお、平成24年度以降もP D C Aサイクルにより、目標項目及び目標値を随時見直し、毎年度2月までに設定したものをホームページ等で公開することが求められます。

内 容		目標値	数値設定の考え方等
①	出会い創出事業等の実施回数	年12回以上開催	毎月1回の開催を目標に設定
②	出会い創出事業におけるカップリング数	1事業あたり3割	平成22年度事業の実績により設定
③	メールマガジン登録者数	500人	東海市の30代の未婚者数(平成17年国勢調査)の約10%
④	結婚応援サポーター登録数	30件	東海商工会議所の1店逸品事業所数から設定
⑤	センター相談件数	300件	1日1件の相談件数を目標に設定

注1) ①の事業には、未婚者を対象とした各種講座や親御さん及び結婚サポーターを対象とした講座も含む

注2) ②の目標値はあくまで自然発生的な数値であり、主催者が強要するものではない

注3) ⑤のセンター相談件数には、電話相談も含む

## 2 長期的な数値目標（平成23年度～平成26年度）

結婚応援センターにおける長期的な数値目標は、次の表のとおり設定することが望ましいと考えます。

数値目標の終了年次は、東海市次世代育成支援行動計画と同じ平成26年度とすることで、少子化対策の川上の施策として未婚者支援対策を明確に位置づけ推進することができると考えます。

なお、長期的な数値目標の進捗状況は、毎年度設定する短期の数値目標と合わせて、毎年度2月までにホームページ等で公開することが求められます。

	内 容	目 標 値	数値設定の考え方等
①	30代男性の未婚率を下げ	30.0%	東海市次世代育成支援行動計画に基づき設定。注1)
②	センター関連事業での成婚数	年15人	40人×12回×3割×10%詳しくは、注3)参照
③	メールマガジン登録者数	2,000人	東海市の30代の未婚者数(平成17年国勢調査)の約40%
④	結婚サポーター登録数	100件	事業所・企業統計の卸売・小売業・飲食店数の約10%。注4)
⑤	合計特殊出生率	2.0	東海市次世代育成支援行動計画に基づき設定

注1) 東海市次世代育成支援行動計画（後期）と同じ目標値

注2) ①と③、④、⑤の目標値は平成26年度末における目標

注3) 1回あたりの事業参加者数40人×年間実施回数12回×平成22年度  
出会い創出事業のカップリング実績値3割×目標割合10%

注4) 事業所・企業統計の卸売・小売業・飲食店の基礎数値は965件



### Ⅲ 将来展望

東海市単独での取り組みには、未婚者の男女数のアンバランスの解消や事業実施にかかる財政支出に限界があることから、地域住民や企業、NPO、近隣市町など市内外の多様な主体と連携して未婚者を支援する継続的な仕組みを整える必要があります。

急激な社会環境の変化により、先行きは不透明ですが、これからも非婚化・晩婚化がすすむことが予想され、行政による未婚者支援が期待されます。

しかし、行政がいつまでもトップランナーとして、未婚者支援に関わり続けることは、結婚という個人の問題を考えるにあたって、本来の地域社会の望ましい姿ではありません。

行政は、個人はもちろんのこと、家庭や企業、地域などによる主体的な取り組みをバックアップし続ける存在として、役割を果たしていく必要があります。

次の取り組みは、東海市が主にコーディネイターとしての役割を中心に果たし、地域住民や企業、NPO、近隣市町を巻き込んで行う未婚者支援方策の例です。社会環境の変化や東海市における未婚者支援の熟成度に合せて、実施することが期待されます。

取り組み		概要
①	まちづくり協働推進事業 <sup>2</sup> としての実施	市と市民団体などが協働(お互いの長所を生かしながら、パートナーシップを組むこと)で行う事業。地域の課題に行政のみではなく、市民団体などと一緒に取り組むことによって、きめ細かい地域のニーズにあった事業展開が期待できる。
②	市民世話焼きさん(仲人)の登録制度	民間事業者等の結婚応援サポーターとは別に、市民レベルの「世話焼きさん」を登録する制度。登録要件などの検討を要するが、世話焼きさんを対象とした講座を合わせて開催し、スキルアップを図ることで、地域で未婚者を支援する制度として期待できる。また、成婚を仲介した場合に世話焼きさんへ報酬を支払う制度の構築により、好循環が期待できる。
③	近隣市町等とのネットワーク構築(広域協議会等の設置)	近隣市町や関連企業とのネットワークを構築し、情報交換・事業の相互乗り入れを図るもの。「愛知県未婚者支援連絡協議会(仮)」を設置し、東海市の枠を超えた未婚者支援の協議・事業実施を連携して行う基盤組織となるもの。

<sup>2</sup> まちづくり協働推進事業とは、市と市民団体などが協働(お互いの長所を生かしながら、パートナーシップを組むこと)で行う事業

## IV むすびに

東海市未婚者支援対策協議会は、少子化の要因の一つである非婚化・晩婚化を長期的な視点で改善することを目的として、平成21年度に設置されました。そして、平成22年度までの間で計7回の協議会と計3回の分科会を開催し、未婚者支援の総合的・計画的な施策の検討を重ねてまいりました。

当協議会で平成21年度に取りまとめた未婚者支援対策調査報告書及び事業提案を受け、東海市では、継続的かつ組織的に未婚者支援に取り組む「東海市結婚応援センター」が平成23年4月から名鉄太田川駅東の商業ビルの子育て総合支援センター内に開設されます。また、市のまちづくりの指針である都市宣言の1つとして「子育てと結婚を応援するまち東海市」が定められました。

このことは、東海市の未婚者支援対策の新たな展開を示す具体的な施策として、大いに評価・期待できるものです。

今後市には、「結婚したいなあと見え、結婚が実現する社会」を目指し、当協議会からの調査報告書及び本提言書を基本としつつ、社会環境の変化や市民ニーズにも柔軟に対応する未婚者支援が求められます。

また、東海市単独での取り組みには、市内の未婚男女数のアンバランスの解消や事業実施にかかる財政支出に限界があることから、家庭、企業、地域や近隣の他自治体等と連携して未婚者を支援する仕組みを築くことが必要になると予想されます。そのため、事業の実施主体としての市の役割に加え、地域全体で未婚者を支援する環境を醸成するコーディネイターとしての役割も果たしていくことが大切であると考えます。

未婚者支援は、短期で成果を得ることは難しいでしょう。しかし、長期的な視点に立ち、将来における社会の活力維持・増進を図るための少子化対策の原点として、継続的な取り組みが求められます。当協議会からの調査報告書及び本提案書が、今後の未婚者支援施策の指針となれば幸いです。

最後に、本提案書の作成にあられた委員の皆様には熱心なご議論をいただきましたことを心より感謝申し上げます。

東海市未婚者支援対策協議会

会長 後藤 澄江

資料編



## VI 資料編

### 1) 東海市未婚者支援対策協議会について

#### ○平成22年度東海市未婚者支援対策協議会設置要綱

##### (目的)

第1条 東海市未婚者支援対策調査報告書に基づき、中長期的な視野で未婚率の減少を図るため、結婚支援の総合的・計画的な施策を開発・事業立案することを目的に東海市未婚者支援対策協議会（以下「協議会」という。）を置く。

##### (所掌事務)

第2条 協議会は次の事項を検討する。

- (1) 東海市における未婚化・晩婚化に関する実態調査に関すること。
- (2) 未婚者支援のための各関係団体の連携に関すること。
- (3) 未婚者の減少を図る効果的な施策の開発・事業立案に関すること。
- (4) その他、委員長が必要と認める事項に関すること。

##### (組織)

第3条 協議会の委員は、15人をもって組織する。

2 協議会の委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱し、または任命する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 商工業団体を代表する者
- (3) 農業団体を代表する者
- (4) 労働団体を代表する者
- (5) 地域を代表する者
- (6) 市の職員
- (7) その他市長が必要と認める者

##### (委員の任期)

第4条 委員の任期は、平成23年3月31日までとする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

##### (会長及び副会長)

第5条 協議会に会長及び副会長1人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、または会長が欠けたときは、その職務を代理する。

##### (会議)

第6条 協議会は、会長が招集する。

2 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、その意見または説明を聞くことができる。

##### (庶務)

第7条 協議会の庶務は、環境経済部商工労政課において処理する。

<p>(雑則)</p> <p>第8条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。</p> <p>附 則</p> <p>この要綱は、平成22年5月20日から施行する。</p>
--

○平成22年度東海市未婚者支援対策協議会委員名簿

氏 名	所 属	備 考※
後藤 澄江	日本福祉大学 社会福祉学部 教授	会長 ※
大橋 清朗	NPO法人 花婿学校 代表	副会長 ※
早川 鉄三	東海商工会議所 専務理事	※
北川 和俊	東海商工会議所 青年部副会長	
深谷 栄太郎	東海青年会議所 直前理事長	H22.12.28 任期満了
竹内 宗	東海青年会議所 理事長	H23.01.04 委嘱
久野 兼幸	あいち知多農業協同組合 東海事業部長	※
山口 裕介	東海4Hクラブ 会長	※
小桜 和志	株式会社ツヴァイ 取締役営業本部長	※
江口 良子	名古屋リビング新聞社 シティリビング編集部	※
尼子 真也	新日本製鐵(株)名古屋製鉄所総務部	※
名桐 悟	愛知製鋼労働組合	※
三宅 ひとみ	大同特殊鋼労働組合	※
加古 直貴	子育て支援課長	
高井 忠	青少年センター所長	
菊池 博史	商工労政課長	※

※備考は、平成21年度協議会からの継続委員

○平成22年度東海市未婚者支援対策協議会開催経過

開催年月日	内容	
平成22年 8月3日	第1回協議会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 辞令交付</li> <li>2 あいさつ</li> <li>3 委員紹介</li> <li>4 正副会長選出</li> <li>5 正副会長あいさつ</li> <li>6 東海市未婚者支援対策協議会の概要について</li> <li>7 東海市未婚者支援対策協議会の協議の方向性について</li> <li>8 東海市未婚者支援対策事業計画について</li> <li>9 協 議               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 結婚応援センター（仮）について</li> <li>(2) 情報発信ツールについて</li> <li>(3) ガイドブック作成について</li> <li>(4) 経済的な支援策について</li> <li>(5) 市民向けフォーラムについて</li> </ol> </li> <li>10 今後のスケジュールについて（予定）</li> </ol>
11月5日	第2回協議会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 東海市未婚者支援対策提案書（素案）について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 結婚応援センター事業について</li> <li>(2) 経済的な支援策について</li> <li>(3) その他</li> </ol> </li> <li>2 情報発信サイトのデザイン選定について</li> <li>3 結婚応援ガイドブックの構成について</li> <li>4 出会いサポート事業等の中間結果について</li> <li>5 今後のスケジュールについて（予定）</li> </ol>
平成23年 2月24日	第3回協議会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 東海市未婚者支援対策提案書（素案）について</li> <li>2 結婚応援ガイドブックの構成について</li> <li>3 情報発信サイトについて</li> <li>4 平成23年度の結婚応援事業について</li> <li>5 今後の協議会スケジュールについて（予定）</li> <li>6 その他</li> </ol>

2) 平成22年度東海市未婚者支援対策事業概要

①婚カツ応援パーティー ～ Happy 夏 in TOKAI ～

実施時期	平成22年7月24日（土）
企画運営団体名	東海商工会議所
実施場所	東海市立勤労センター

募 集 人 数	100人（うち 男性50人、女性50人）
申 込 者 数	112人（うち 男性56人、女性56人）
参 加 者 数	112人（うち 男性56人、女性56人）
カ ッ プ ル 成 立 数	17組（重複なし）
参 加 条 件 等	東海市近隣に在住・在勤の方（20歳～40歳代）
参 加 費	男性 3,000円 ・ 女性 2,000円
企 画 概 要	<p>一般募集した100人程度の市内及び近郊に在住・在勤の独身者に対し、安全かつ健全な出会いとスムーズな交流をサポートする場としてカップリングパーティ等を行うもの。</p> <p>カップリングパーティの具体的な内容は、ジャンケンムカデゲームやビンゴゲーム、インスピレーションゲームを行うもの。</p>

## ②結婚応援フォーラム

実 施 時 期	平成22年9月25日（土）
企 画 運 営 団 体 名	株式会社 PHP 研究所
実 施 場 所	東海市立勤労センター
募 集 人 数	500人
申 込 者 数	—
参 加 者 数	140人
カ ッ プ ル 成 立 数	—
参 加 条 件 等	—
参 加 費	無料
企 画 概 要	<p>幅広い年齢層の市民に今なぜ未婚者支援が必要なのか、現代の結婚事情はどうかということをご理解いただくため、直木賞受賞作家・石田衣良氏をお招きし、結婚応援フォーラムを開催。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>第1部 基調講演：石田流“結婚のススメ” 石田衣良氏と司会者との対談形式で実施。</li> <li>第2部 パネルディスカッション テーマ：結婚を応援するまち東海市を目指して <ul style="list-style-type: none"> <li>◎コーディネイター 日本福祉大学教授・未婚者支援対策協議会会長・後藤澄江氏</li> <li>◎パネラー 石田衣良氏 NPO 法人花婿学校代表・未婚者支援対策協議会副会長・大橋清朗氏 東海商工会議所青年部・北川和俊氏 東海市長・鈴木淳雄</li> </ul> </li> </ol>



③東海婚活応援セミナー

実施時期	平成22年10月3日(日) ～平成22年11月28日(日)																			
企画運営団体名	NPO法人 花婿学校																			
実施場所	東海市内各施設																			
募集人数	50人(うち 男性25人、女性25人)																			
申込者数	48人(うち 男性25人、女性23人)																			
参加者数	48人(うち 男性25人、女性23人)																			
カップル成立数	-																			
参加条件等	東海市近隣に在住・在勤の方(20歳～40歳代)																			
参加費	男性 5,000円 ・ 女性 5,000円 ※交流会参加料を含む																			
企画概要	<p>男女の出会いに必要なコミュニケーション能力等の向上を目的に5回の講座(座学とグループワーク)を開催するもの。講座は、参加者を固定して男女合同で実施する。</p> <p>また、5回の講座の終了後、講座で学んだことを活かす場として、別途募集する50名(男女各25人)を加え、交流会を開催する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>日時</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10月3日(日) 午前10時～12時</td> <td>婚活全般のコミュニケーション</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10月16日(土) 午前10時～12時</td> <td>第一印象、立ち振る舞い、魅せ方</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>11月6日(土) 午前10時～12時</td> <td>カラーコーディネート、ファッション</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>11月20日(土) 午前10時～12時</td> <td>自己PR、自己紹介</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11月28日(日) 午後1時～3時</td> <td>婚活における会話術、出会い</td> </tr> </tbody> </table>		No	日時	内容	1	10月3日(日) 午前10時～12時	婚活全般のコミュニケーション	2	10月16日(土) 午前10時～12時	第一印象、立ち振る舞い、魅せ方	3	11月6日(土) 午前10時～12時	カラーコーディネート、ファッション	4	11月20日(土) 午前10時～12時	自己PR、自己紹介	5	11月28日(日) 午後1時～3時	婚活における会話術、出会い
No	日時	内容																		
1	10月3日(日) 午前10時～12時	婚活全般のコミュニケーション																		
2	10月16日(土) 午前10時～12時	第一印象、立ち振る舞い、魅せ方																		
3	11月6日(土) 午前10時～12時	カラーコーディネート、ファッション																		
4	11月20日(土) 午前10時～12時	自己PR、自己紹介																		
5	11月28日(日) 午後1時～3時	婚活における会話術、出会い																		

④東海LOVEカップ ～バーベキューパーティー～

実施時期	平成22年10月17日(日)	
企画運営団体名	株式会社 ツヴァイ	
実施場所	東海市しあわせ村	
募集人数	40人(うち 男性20人、女性20人)	
申込者数	90人(うち 男性51人、女性39人)	
参加者数	50人(うち 男性25人、女性25人)	
カップル成立数	12組(重複5組)	
参加条件等	東海市近隣に在住・在勤の方(20歳～40歳代)	
参加費	男性 4,000円 ・ 女性 4,000円	
企画概要		

バーベキューパーティでは食材を切るところから参加者がやることで、バーベキューを通して参加者通し交流を深めるもの。

1. <食材調達ゲーム>

カレーを作るための食材を調達する。クイズに正解することができないと食材をもらうことができない。

2. <バーベキューパーティ>

バーベキューを楽しんでいただく。

3. <テーブルチェンジ>

一定時間ごとにテーブルチェンジを行う。

4. <ゲーム大会>

カレー選手権開催。参加者全員でカレーの試食会を実施し、おいしいと思ったグループに投票する。

5. <パーティ名刺交換>

連絡先を交換したいと思った方には事務局を介してパーティ名刺を交換していただく。

※「カレー選手権」

グループごとにカレーを作り、一番おいしいカレーを作ったチームが優勝。全員で試食をし、美味しいと思ったチームに投票をする。

⑤東海婚活応援セミナー・カップリング交流会

実施時期	平成22年11月28日(日)
企画運営団体名	NPO法人 花婿学校
実施場所	東海市内各施設
募集人数	50人(うち 男性25人、女性21人)
応募者数	141人(うち 男性72人、女性69人) ※東海婚活応援セミナー参加者を含む
参加者数	141人(うち 男性72人、女性69人) ※東海婚活応援セミナー参加者を含む
カップル成立数	16組(重複なし)
参加条件等	東海市近隣に在住・在勤の方(20歳～40歳代)
参加費	男性 3,000円 ・ 女性 3,000円
企画概要	男女が楽しみながら交流を深めることができる交流会を開催するもの。 なお、参加者100名の内の50名(男女各25名)は、別で実施するコミュニケーション能力向上セミナーの受講者が講座で学んだことを活かす場として実施し、受講者以外の50名(男女各25名)は、一般募集を行った。

⑥東海LOVEカップ ～クリスマス♪クッキングパーティ～

実施時期	平成22年12月5日(日)
企画運営団体名	株式会社 ツヴァイ
実施場所	東海市しあわせ村

募集人数	40人（うち 男性20人、女性20人）
申込者数	71人（うち 男性38人、女性33人）
参加者数	50人（うち 男性25人、女性25人）
カップル成立数	15組（重複6組）
参加条件等	東海市近隣に在住・在勤の方（20歳～40歳代）
参加費	男性 3,000円 ・ 女性 3,000円
企画概要	<p>クッキングを通して交流を深めていただく。途中では、ゲーム大会やテーブルチェンジを設け、参加者全員と会話ができるようにする。</p> <p>※料理メニュー：ローストチキン・クラムチャウダー・ケーキ</p> <p>（進行スケジュール）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.&lt;講師の先生より料理の説明&gt;</li> <li>2.&lt;クッキングタイム&gt;： 8～9名×6グループに分かれてクッキング開始。</li> <li>3.&lt;食事タイム&gt;</li> <li>4.&lt;テーブルチェンジ&gt;： 15分×4回行う</li> <li>5.&lt;ゲーム大会&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケーキ審査結果を発表</li> <li>グループごとにケーキに素敵なデコレーションを施し競うもの。講師が審査し投票をする。</li> </ul> </li> <li>6.&lt;パーティ名刺交換&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>連絡先を交換したいと思った方には事務局を介してパーティ名刺を交換していただく。</li> </ul> </li> </ol>

⑤ 東海婚活応援交流会

実施時期	平成23年2月12日（土）
企画運営団体名	NPO法人 花婿学校
実施場所	東海市立勤労センター
募集人数	100人（うち 男性50人、女性50人）
応募者数	131人（うち 男性70人、女性41人）
参加者数	91人（うち 男性50人、女性41人）
カップル成立数	22組（重複5組）
参加条件等	東海市近隣に在住・在勤で、将来的に東海市で居住する意向のある方（20歳～40歳代）
参加費	男性 4,000円 ・ 女性 4,000円
企画概要	男女が楽しみながら交流を深めることができる交流会。

東海市未婚者支援対策 提案書

平成 23 年 3 月

東海市未婚者支援対策協議会

---

事務局連絡先

東海市役所 環境経済部商工労政課

〒476-8601 愛知県東海市中央町一丁目1番地

TEL : 052-603-2211 0562-33-1111

FAX : 052-603-6910